

Understanding the degradation mechanisms of organic-inorganic halide perovskite solar cells

トゥメンウルズィ, ガンバータル

<https://hdl.handle.net/2324/4110481>

出版情報 : Kyushu University, 2020, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :



氏 名	Tumen-Ulzii Ganbaatar (とうめんうるずい がんばーたる)			
論 文 名	Understanding the Degradation Mechanisms of Organic-Inorganic Halide Perovskite Solar Cells (有機無機ハライドペロブスカイト太陽電池の劣化機構に関する研究)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	安達 千波矢
	副 査	九州大学	教授	林 克郎
	副 査	九州大学	教授	興 雄司

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文では、有機・無機ハロゲン化鉛ペロブスカイト太陽電池の劣化機構の解明に取り組み、主にイオン拡散の抑制、SAM膜による表面修飾により高耐久性を実現した。本研究で得られた知見は今後のペロブスカイト太陽電池の開発において極めて有益な研究成果であるとともに、有機・無機ハイブリッドエレクトロニクス的发展に寄与するところが多い。従って、本論文は博士（工学）の学位論文に該当すると認める。